

医学教育モデル・コア・カリキュラム (H13.3策定、H19.12、H23.3、H29.3改訂) (概要) (案)

- 学生が卒業時まで身に付けておくべき、必須の実践的診療能力(知識・技能・態度)を、「ねらい」と「学修目標」として明確化
- 学生の学修時間数の3分の2程度を目安としたもの(残り3分の1程度は各大学が特色ある独自のカリキュラムを実施)
- 「医師として求められる基本的な資質と能力」として、ミニマム・エッセンスである項目を記載 * 国際認証や3つのポリシーとの整合性に関する記載を掲載予定。

教養教育

各大学の特色ある独自のカリキュラム(学生の学修時間数の3分の1程度)

※各大学が教育理念に基づいて設置する独自のもの(学生が自主的に選択できるプログラムを含む)

医学教育モデル・コア・カリキュラム

(学生の学修時間数の3分の2程度)

医師として求められる基本的な資質と能力

C 医学一般

物理現象と物質の科学 情報の科学 個体の反応
生命現象の科学 個体の構成と機能 病因と病態

D 人体各器官の 正常構造と機能、 病態、診断、治療

E 全身におよぶ 生理的变化、病態、 診断、治療

F 診療の基本

症状・病態からのアプローチ
基本的診療知識 基本的診療技能

A 基本事項

医の原則 医療における安全性確保
人の行動と心理 コミュニケーションとチーム医療 課題探求・解決と学習の在り方

B 医学・医療と社会

社会・環境と健康 地域医療 疫学と予防医学
生活習慣と疾病 保健、医療、福祉と介護の制度 死と法 診療情報 臨床研究と医療

CBT(知識)・OSCE(技能・態度)
臨床実習開始前の「共用試験」

G 臨床実習

診察の基本
診察法
基本的診療手技
診療科臨床実習
(内科系、外科系、救急医療)
地域医療臨床実習

人文・社会科学・数学・語学教育など

医師国家試験